

重点施策点検・評価表

4 - 1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課（館）
	① 企画（特別）展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	大館の歴史や自然及び文化財について関心を高めてもらうため企画展を開催し、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等をツールとして、リアルタイムに情報発信していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） コロナ感染が第5波、第6波と発生し、令和2年度に引き続き人々の移動が制限される状況が続く中、博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどHPの更新や、ツイッター、フェイスブックなどを積極的に活用し、情報発信を行った。 また、風穴館のYou tube動画や、ニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信し関心を高めた。博物館の企画展で郷土の画家の作品展を開催して多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。
課題等	コロナ感染の収束がまだまだ見通せない状況が続いているが、各施設の情報や企画展について、HP、ツイッター、フェイスブック等のSNSにより幅広くPRし、タイムリーな情報発信に努める。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	宣伝効果が効いている印象を受けていて、今後定着していきたく感じている。有効な発信手段なので、頑張ってください。
	② 学術的講座等の開催
	歴史文化課
活動内容	大館郷土博物館等における学術的講座や、発明クラブやわくわくサイエンス、出前講座など、関係課や関係団体と連携しながらニーズに合わせた学びの機会を提供していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 出前講座は4回実施し、子ども科学教室「わくわくサイエンス」は、定員数を抑え感染症対策を施して8回実施した。学術的講座は、今年度は北鹿地方の市町村が連携して、ほくろく文化財オンラインツアーを4回（8講座）、北鹿地域の自然や歴史などをテーマとした「ほくろく博物館講座」を2回（9講座）開催した。 これらの講座は感染防止対策のため、ZOOMウェビナーによるオンライン形式と会場への参集による併用方式で開催した。講師は大館・小坂・鹿角・北秋田の学芸員のほか県立博物館等が務めた。 企画展は、「端午の節句展」や「戸嶋靖昌 恩師と友人たち展」、「松村六也展」など6回開催した。
課題等	北鹿地域が連携して実施したオンライン講座は、運営面では事前にリハーサルを行ったが、当日通信の不具合などもあったので今後は問題点を整理しスムーズに進めたい。また講座の内容がマンネリにならないように検討していく必要がある。 オンラインでの講座は、自宅等で気軽に視聴できるので、情報発信による周知をはかり、参加者を増やしていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	広域的な連携は、今年が初めてということですのですごく良いと感じる。専門的な知識を求めるのは大変なことと思う。共催している他の自治体と悩みを共有して、より良いものを目指してほしい。

重点施策点検・評価表

4 - 2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課（館）
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存と、継承や公開の機会を支援する。また、市内に存在する文化財の公開や保護の活動をしている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、桜祭りの中止などにより発表する機会を得ることが難しかった。 例年行ってきた大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会や伝統文化親子教室での伝統芸能の発表などは、コロナ禍の影響により昨年度に引き続き実施できなかった。
課題等	両団体とも高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい状況が続いている。地域の郷土芸能を継承するため、小中学校等での活動の支援を継続していく必要がある。また、郷土芸能の記録保存について検討する段階にあると思われる。
学識経験者等の意見	郷土芸能を発表しようと思ってもやれないというのは大変なことと思う。発表を実施していかなければ郷土芸能の伝承は難しいし、現状維持するのも大変なこと。また、記録の保存も大切。県内の良いところがあれば真似してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課（館）
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖
	歴史文化課
活動内容	天然記念物「ザリガニ生息地」の再生を目指す。今年度は増殖事業の5年目を迎え、ニホンザリガニの増殖技術が更に向上するよう関係者と連携・情報交換をしていく。一昨年度に完成した人工生息地における定着状況や生息環境について丁寧にモニタリングをして対処していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>天然記念物を保存する気運を醸成するため、大館郷土博物館と男鹿水族館での飼育展示を継続し、教育普及に努めた。 令和元年度に創出した第1人工生息地で継続しているモニタリング調査で30匹前後の生息が確認されており、ニホンザリガニの生息環境として整いつつあると考えられる。また、令和4年度以降に予定している第2人工生息地の造成工事に向けて測量事業を行った。</p>
課題等	<p>人工生息地での生育を確認しているものの、増殖技術はまだ確立されていないので、専門家の協力を得ながら引き続き研究していく。第1人工生息地は、安定して生息できるよう適宜生育環境の確認が必要である。また、第2人工生息地の整備を令和4年度から3か年で計画しており、湧水量の確保など課題を解決しながら進めていく。</p> <p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	天然記念物の保護は大変難しい事と思う。市民に理解してもらい応援を得られるよう、情報発信しながら頑張してほしい。
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	大館城跡発掘調査による出土品について、整理、記録、保存をする。また官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査は、相手方と連携し適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>新庁舎建設事業に伴う令和3年度の発掘調査は、旧庁舎南側の市道沿いの駐車場跡地で実施し、堀跡などを確認することができ、併せて出土品の整理、記録、保存を行った。 官民の開発事業に伴う調査は10件実施した。</p>
課題等	<p>大館城跡（旧庁舎跡地）の発掘調査は令和5年度で終了予定。発掘を進めるにあたり、関係部局と綿密に協議を重ねながら進める必要がある。発掘調査記録や出土品の整理、記録、保存を確実に、丁寧に実施していく。</p> <p>大館城は歴史的に興味深い箇所であり、発掘調査の成果について適宜情報発信し、関心を高めていきたい。</p> <p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	地道な作業に対し感謝する。おかげでこの辺りの景観も良くなったように感じる。見学会などの情報発信を継続して、市民の協力が得られるように頑張してほしい。

重点施策点検・評価表

4-3-2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課（館）
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組み
	歴史文化課
活動内容	文化庁の名勝調査事業として、4年をかけて国の名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指す。今年度は3年目で、昨年度に引き続き調査委員会の開催、庭園の調査、文献の調査を行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 令和3年10月29日に名勝地調査委員会を鳥潟会館で開催し、令和2年度に作成した中間報告書について、名勝指定を目指す上での課題・調査の進め方など詳細なアドバイスと指示をいただいた。また、庭園の毎木調査の他、鳥潟家に関わる文献の調査を行い、3年度末時点の調査結果を反映させた報告書を作成した。
課題等	調査事業は令和4年度が最終年度となる。 前年度までに委員からいただいた意見や調査結果などを盛り込んで、名勝申請に耐えうる報告書を作成する必要がある。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	積み上げてきた調査を大切にしながら、名勝指定に向けて頑張ってもらいたい。
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

4 - 4

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
	担当課（館）
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援
	歴史文化課
活動内容	「文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は4年目を迎える。各種事業の実績に結び付くよう積極的に支援していく。 昨年度に続き、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座や大館神明社例祭の9講の伝承曲のCD制作事業が予定されており、関係課とも連携して取り組んでいく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会が計画していた大館神明社例祭各講伝承曲のCDを制作し後世への継承及び普及啓発を行った。また、大館ばやし保存会ホームページを開設し、情報発信を図ることができた。ヘリテージマネージャー育成事業として市内でのフィールドワークや研修会を実施した。 事業の実施にあたり、実施団体や関係課と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議しスムーズに進めることができた。
課題等	歴史まちづくり事業の中で、ソフト事業を推進しており、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用などについて取り組んでいるが、本委員会に伝統芸能組織の新規参加がない状況。 今後、伝統芸能活動の維持保存を図っていくためにも、これまでの事業の成果を活かし、賛同する団体を増やしていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	先にもあったが、伝承は大変難しい問題。伝承曲のCD作成は良いこと。文化的活動は時間がかかるが、市民の応援を得るため、見える化して、情報発信などの活動を進めてほしい。
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	